



# アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT

## 発芽期の管理

果樹林産センター 青島



4月は気温が上がり、ミカンの樹も発芽・開花を迎えます。今月は開花前の管理として剪定、除草、病害虫防除など計画的に作業を行います。

### 剪定

・剪定は3月から実施されていると思います。が、表年の樹は、発芽前に終わらせておくことが望ましいです。結果母枝を減らすだけでも開花量を抑えられ、今後の摘果作業を軽減できます。

・裏年の樹の剪定は、出蕾を確認してから行うことも可能です。花と養分競合する新梢の芽かきと合わせて実施しましょう。

・また、枯れ枝の除去を徹底し、耕種的に黒点病を防除しましょう。剪定した枝も黒点病の原因となります。必ず園地外へ持ち出すようにしましょう。

### 除草

・近年増えているオオアレチノギクやヒメムカシヨモギは、グリホサート系統の除草剤に対して抵抗性を獲得している系統が出ており、防除が難しくなっています。刈払い機で刈り取るか、除草剤を使う場合は、バスタ液剤やプリグロックス<sup>®</sup>などの非グリホサート系の除草剤を選びましょう。

### 病害虫防除

・そうか病は葉や果実にいぼ状やかさぶた状の病斑がみられます。発芽期から新梢伸長期にかけて気温が低く、雨が多いと発病が多くなる傾向にあります。また、密植園や川沿い、谷間などの湿度が高い場所では特に発生が多くなります。一度多発すると収束させるのに非常に時間がかかります。効果的に薬剤防除を行い、越冬性菌から新葉への初期感染を防ぐことが重要です。また、耕種的防除として、病斑がみられる実や葉は切除し、園地の外へ持ち出しましょう。

・ミカンハダニ<sup>®</sup>マシノ油乳剤(97%) 100倍  
カイガラムシ類<sup>®</sup>アプロードフロアブル

1000倍 (14日ー3回)

・そうか病<sup>®</sup>デランフロアブル

1000倍 (30日ー3回)